

大学院入試「有機化学」2026年度の出題意図

大問3 出題意図

有機化合物の変換反応に関する基礎的な知識を問う問題です。有機化合物を変換する際、出発物質と用いる試薬を指定し、それによって得られる生成物を問う場合と、出発物質と生成物を指定し、その変換を行うために用いる試薬を問う場合の両面から出題しています。

70%前後の正答率でおおむね正しい解答がなされていましたが、理解が不十分な解答も散見されました。

大問6 出題意図

有機化合物が変換する際の反応機構に関する内容、ならびに有機化合物のスペクトル分析に関する理解度と知識を問う問題です。どちらの問いも有機化合物の立体化学を含めた複合的な視点での解答が求められます。

有機化合物の反応機構と立体化学の関係に関する設題では理解が不十分な解答が多くあり、正答率は40%程度とやや低調にとどまりました。より複合的な視点が求められるスペクトル分析と反応機構の関係を問う設題では、理解度の差がより顕著となり正答率は25%程度にとどまりました。